

東照宮御代

浅井

高百俵五人扶持

藤原姓

家紋

抱柏  
三柏

吉良家之旗下三州中嶋城主浅井

主水

初由良  
平八郎

惣領

光兼

彦太夫

東照宮岡崎に御座の時永楽十五貫文

下され奉仕天正十二年小牧にて

討死

某

甚兵衛

天文十七年小豆坂にて戦死

正重

治右衛門

東照宮関東御入国の時幼年にて供

奉せず三州青野村に住寛永十

六年月日不知死八十歳

光家

二男

甚之丞

三州青野村に籠居○死七拾六歳

光重

二男

與右衛門

御当地に出て御奉公儀願万治二年

月日不知御徒召抱られ○元禄六年

十二月廿七日病にて避免○同十二年

十一月廿七日死浅草行安寺地中

経寿院に葬

兼綱

武右衛門

元禄六年十二月廿七日御徒○兼綱

大叔母ちやこ幼少より

桂昌院殿に奉仕し御次頭を勤し時

兼綱を養子とし

桂昌院殿御預にて元禄十三年五月

廿七日三丸御広敷添番加秩三拾俵

御紋服を賜○宝永二年八月十四日小

普請に入○享保二年三月四日御徒

目付○同五年四月十一日御広敷添番

○同十一年正月廿八日御広鋪御用達

○同十四年十月十三日右衛門督殿附用

達○同十六年九月十九日御同所賄頭

臺所頭兼○元文五年十二月二日

死七拾三歳同寺に葬

以下略